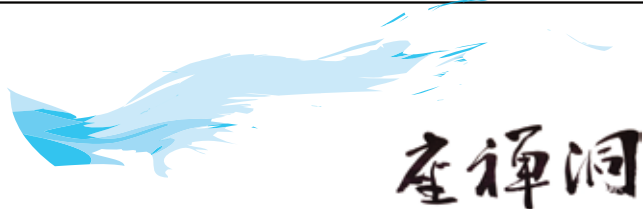


★漢方談義★



「陰陽五行説」

太田順康

東洋医学の根底をなしている理論です。

特に宋の時代には医学だけでなく、政治、宗教、哲学などにも取り入れられました。

天地の未だ定まらない世界を大曲と言ひ、大曲動いて陽を生じ、静まって陰を生じ、陽は天の氣となり、陰は地の氣となる。陰が変じ、陽が合して木火土金水の五行を生ず。水は潤下し、火は炎上し、木は曲直し、金は従革し、土は稼穡する。

この考えに従って総ての物や事象を五行に当てはめて考えます。なにか難しそうですが皆さまの周りにも結構この考えで出来上がったものがあります。

曜日はこの五行に陰陽の日月を加えたもので、陰陽五行そのものです。

薬師寺の薬師如来の台座に彫られている。東の青龍、南の朱雀、西の白虎、北の玄武（蛇と亀）もそうです。

木＝東＝青又は緑、火＝南＝赤、土＝中央＝黄、金＝西＝白、水＝北＝黒又は紫で中央の座に如来が座しています。

お寺の幔幕の色もこの五色ですし、仏様に上げる仏花もこの赤白黄紫緑の五色になっているはずです。

大相撲の赤房、白房、青房、黒房もそうです。中央の土俵が黄色です。

倭は東夷、南蛮、西戎、北胡とって中原の外の野蛮人のことです、中原は黄土で中央です。日本は東の野蛮人（文明の外）だそうです。倭の奴国の王と金印を与えてほくそえんでいる魏の皇帝の顔が見えるようです。中華思想のもとです。下の表のように色々なものを当てはめています。

	木	火	土	金	水
色	青	赤	黄	白	黒
蔵	肝	心	脾	肺	腎
府	胆	小腸	胃	大腸	膀胱
方	東	南	中央	西	北
味	酸	苦	甘	辛	鹹
季節	春	夏	土用	秋	冬
穀物	麦	黍	稗	稻	豆

在禅洞

すやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

< 4月の予定 >

6日(金) 13日(金) 20日(金) 27日(金)

あつという間の春。桜も急いで咲きほこり、この便りが届く頃には、散ってしまいそうです。春は、なんといっても山菜の季節。ふきのとう、コゴミ、タラの芽・・・と、食卓が楽しくなります。戴きながら人の手で汚してしまった“自然”を想わざるを得ません。この季節、歩きながら見上げる木々の芽吹き。いのちの大切さを思います。

§ 漢方相談日

担当：太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師

今月の漢方相談日は、下記のように。

9日(月) 16日(月) 23日(月)

§ 4月の休診日

30日(振替休日)

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。



木は火を生じ、火は土を生じ、土は金を生じ、金は水を生じ、水は木を生ずるとする相生論では、肝が心を助け、心は脾を助け、脾は肺を助け、肺は腎を助け、腎は肝を助けるのです。また木は土を抑え、土は水を抑え、水は火を抑え、火は金を抑え、金は木を抑えると言う相克論では五臓がお互いに抑制しあって全体を調節しあっています。

五臓がうまくバランスが取れている体が健康なのです。生活の不摂生や、取り越し苦労などをして五臓のバランスを狂わさないようにしましょう。(つづく)

